

道路

あかしあ通りのグリーンロード化について

浅倉成樹議員(公明) ①散策やサイクリングに適した道路環境を整えるところがあるが、具体的にはどのような内容か。
 ②意見交換会での意見は。
 ③どのような課題があるか。

市長 ①自転車レーンの導入や休憩スペースの確保、街路樹や植栽の見直しを行いたい。
 ②事業の進め方については住民への十分な説明と協力、緑のあり方については街路樹の見直し等の意見があった。

③沿道の方に生垣化等の緑化に協力してもらえることが大きな課題である。
 ▲あかしあ通り(小平団地付近)



安全・安心対策のさらなる取り組みを

山岸真知子議員(公明) ①府中街道西側のたかの街道の歩道の改修計画は。
 ②保護者向け交通安全セミナーの実績、評価、課題は。

市長 ①都が定めた基準に準拠して整備している。
 ②当該歩道は、勾配が民地から車道側に傾斜している所と逆の所が混在している等の状況があり、ほかの市道にはない。
 ③今後、車道を含めた整備について検討したい。

緑成会病院の再開などについて



たかの台交差点 (小川町一丁目)

西 克彦議員(共産) ①医療再開の見通しは。
 ②緑成会保育園の運営は。
 ③職員の退職や解雇があったと聞くが、課題は。

市長 ①道路整備については路面上でこぼれを解消するよう努め、歩きやすくしていきたい。
 ②平成18年度から実施している。平成19年度は3か所、昨年度は2か所、今年度は既に1か所を実施し、さらにもう1か所で実施する予定で、非常にためになった等の意見をもらっている。来年度は日時設定や募集方法について工夫したい。

快速に暮らすために歩道の整備を進めてほしい
 津本裕子議員(公明) ①市道の歩道整備の基準は。
 ②鈴木街道の鈴木町交差点から小金井公園通りまでの歩道は形状が特異だが、同様の市道がほかにあるか。
 ③鈴木街道の歩道改修に対する考えは。

医療・健康

緑成会病院の再開などについて

市長 ①病院として引き継がれることに最善を尽くしているが、現時点では具体的な話ができていないと聞いている。
 ②多摩緑成会が引き続き運営していくと聞いている。
 ③職員の7割から8割が再就職できたが、未払いの退職金等がある、早急に解決するよう努力していると聞いている。

再び、国保加入者の特定健診は市外でも受診可能にすべき
 常松大介議員(フオ) ①近隣市との相互乗り入れに向けた取り組みは。
 ②昨年度の受診率は。
 ③平成19年度に基本健診を市外で受診した1千3百6人のうち、60歳以上の国保加入者数は。そのうち平成20年度の特定健診受診者数は。

市長 ①本年度から国分寺市の医療機関で特定健診の受診が可能になった。今後も近隣市と引き続き調整していく。
 ②現時点では39・6%を見込んでいる。
 ③60歳以上は624人で、そのうち昨年度の受診者は324人である。

女性の健康支援・がん対策を推進しよう



山岸真知子議員(公明) ①女性のがん検診該当者に検診の通知を送ることは検討できないか。
 ②子宮頸がんは若年層への罹患がふえていると聞くが、取り組みは。

市長 ①全員への通知は難しいが、本年度から40歳到達者に対して、がん検診受診の勧奨通知を送付することとしており、準備を進めている。
 ②これまで特に実施していないが、早い段階での予防教育が必要と考えており、今後どのような取り組みが可能か検討していきたい。
 再び、国保加入者の特定健診は市外でも受診可能にすべき
 常松大介議員(フオ) ①近隣市との相互乗り入れに向けた取り組みは。
 ②昨年度の受診率は。
 ③平成19年度に基本健診を市外で受診した1千3百6人のうち、60歳以上の国保加入者数は。そのうち平成20年度の特定健診受診者数は。

児童女性

保育園待機児ゼロのためにも認可保育園の増設を

西 克彦議員(共産) ①公立、私立を問わず認可保育園の増設を検討しては。
 ②認可保育園の分園を検討できないか。
 ③保育園需要への対策は。
 市長 ①今後の就学前児童数は横ばいで推移すると予想しており、既存の保育資源の活用を図ることが有効と考える。
 ②現在は考えていない。
 ③既存資源の有効活用を基本に、次世代育成支援行動計画後期計画を策定する中で、子育て支援協議会を中心に広く市民の意見を聞きながら議論を行っていきたい。

市の今後の保育園待機児対策について

石毛航太郎議員(フオ) ①今年度の対策は。
 ②今年度の入園申込児童数は昨年年度から約22%増加しており、景気低迷による就労希望者の急増や住宅開発による地域的な人口増加が背景と考える。
 ④4月時点で認可保育園の定員を弾力化した。また、認定家庭福祉員を4施設開設したが、さらに2施設開設するとともに既設の認定こども園の定員を30人ふやす予定である。

一時預かり事業の法制化による課題は何か
 常松大介議員(フオ) ①一時保育事業の年間延べ利用者数と定員充足率は。
 ②現行の一時保育事業から一時預かり事業へ移行するのか。
 ③一時保育事業だけを取り出した収支の状況は。

市長 ①1千7百36人、72・9%である。
 ②移行のメリット・デメリット
 ③3号炉の事故の原因は。
 市長 ①早期解決を期待しているが、立川市の事情もあるため、情報提供を求めている。
 ②記述はなく、市が意見を述べることも難しい。
 ③現在、第三者機関で調査しており、6月中旬に補修し早い時期に再稼働すると聞いている。

環境下水道

立川市清掃工場は周辺住民との約束を守ったのか

立花隆一議員(公明) ①工場移転の約束を守れなかったことに対する市の見解と行動は。
 ②周辺自治会との協定について立川市のごみ処理基本計画に記述があるか。
 市長 ③3号炉の事故の原因は。
 市長 ①早期解決を期待しているが、立川市の事情もあるため、情報提供を求めている。
 ②記述はなく、市が意見を述べることも難しい。
 ③現在、第三者機関で調査しており、6月中旬に補修し早い時期に再稼働すると聞いている。

ペットボトルのキャップの分別収集について



斎藤貴亮議員(フオ) ①ペットボトルキャップの分別収集はいつから開始されるか。
 ②特別展示室の評価は。
 市長 ①より多くの方に来館してもらうため、環境全般をテーマとし、市民団体等に協力を呼びかけ、展示やイベント等を行ってほしい。
 ②現在は近代下水道の前身と夜明けと題し、貴重な資料を集め展示しているが、今後も環境をテーマにしたイベント等を行い、親しまれる学習施設にしていきたい。
 ▲下水道管を見学する子どもたち
 ③子どもたちや市民の自主性をどのように支えていくのか。
 市長 ①各施策の状況や二酸化炭素排出量などを把握し、市報やホームページなどで公表していく。また、市民等と市が一体となった施策を実施し、啓発に取り組みたい。
 ②市民、事業者等による話し合いの場を設けるなど、必要に応じて中間の見直しを考えた。
 ③学校での資源循環、家庭での環境家計簿、緑のカーテン等の取り組みを支援していきたい。

ふれあい下水道館の今後の展示、運営などについて

西 克彦議員(共産) ①改革推進プログラムに、有効活用を図るため特定の団体に展示物やイベントなどを呼びかけるとあるが、限定的ではないという解釈でよいか。
 ②特別展示室の評価は。
 市長 ①より多くの方に来館してもらうため、環境全般をテーマとし、市民団体等に協力を呼びかけ、展示やイベント等を行ってほしい。
 ②現在は近代下水道の前身と夜明けと題し、貴重な資料を集め展示しているが、今後も環境をテーマにしたイベント等を行い、親しまれる学習施設にしていきたい。
 ▲下水道管を見学する子どもたち
 ③子どもたちや市民の自主性をどのように支えていくのか。
 市長 ①各施策の状況や二酸化炭素排出量などを把握し、市報やホームページなどで公表していく。また、市民等と市が一体となった施策を実施し、啓発に取り組みたい。
 ②市民、事業者等による話し合いの場を設けるなど、必要に応じて中間の見直しを考えた。
 ③学校での資源循環、家庭での環境家計簿、緑のカーテン等の取り組みを支援していきたい。



ペットボトルキャップの回収ボックス

②周知の方法は。
 ③東西の出張所に回収ボックスを設置できないか。
 市長 ①10月1日から、不燃性資源として収集したいと考えている。
 ②7月後半から市報や、ホームページで周知し、8月下旬には分別方法の啓発紙を新聞折り込みで配布予定である。
 ③現時点では設置場所等の問題で難しいが、今後、事業者等へ働きかけたい。

エネルギービジョンの実現に向けて

日向美砂子議員(生ネ) ①どのように啓発するのか。
 ②評価・検証の際の市民参加はどう行うか。
 ③子どもたちや市民の自主性をどのように支えていくのか。
 市長 ①各施策の状況や二酸化炭素排出量などを把握し、市報やホームページなどで公表していく。また、市民等と市が一体となった施策を実施し、啓発に取り組みたい。
 ②市民、事業者等による話し合いの場を設けるなど、必要に応じて中間の見直しを考えた。
 ③学校での資源循環、家庭での環境家計簿、緑のカーテン等の取り組みを支援していきたい。